

平成18年度予算

これが札幌市の取り組みだ!

特に力を入れる3つの施策

子育て

都市再生

市民自治

平成18年度の予算は、市税収入が伸びず保健福祉費などが増加する厳しい財政状況の中、事務事業の見直しや事業の重点化を進めた結果、前年度比0.5%減の1兆5,476億円となりました。

上田市長の任期最後の本格的な予算となる18年度の予算は、「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」の実現を目指し、「新まちづくり計画」に掲げる事業のほぼすべてを達成することとなります。

今月の特集では、札幌の将来を見据えて決定した3つの施策「子育て」「都市再生」「市民自治」に沿って、主な事業を紹介していきます。

※記事中の予算額は100万円未満を四捨五入しています。また、数字、名称については予定、仮称のものです。

全国に比べて、少子化が著しく進んでいる札幌の現状を踏まえ、将来を担う子どもが、健やかに育つとともに、誰もが安心して子どもを生み育てることができるような環境づくりを進めます。

※合計特殊出生率（女性が一生の間に生む子どもの数に相当）～平成16年では全国1.29に対し札幌は1.01で、特に低い水準にあります



子育て

保育・子育て支援センターを開設

予算 2億9,800万円

定員120人の保育所に加え、子育て中の親子の交流の場である子育てサロンを月曜～土曜に開設します。また、保育士が育児についての相談を行うなど、子育てについてのさまざまな支援を行います。

4月に豊平・西・手稲区に開設。19年4月には東区にも設置されます。



4月に新設された豊平区保育・子育て支援センター

一口メモ このほか、地域には、子育て中の親子が交流できる場として、児童会館や地域の施設を利用した子育てサロンがあります。また、公立保育所において育児相談や保育所の開放（29頁参照）などを行っています。

詳細 保育課 ☎211-2986



親子で交流できる場がほしい

まじま じゅんこ
間島 順子さん
(34歳主婦・豊平区在住・
1歳8カ月になる長男の
子育てに奮闘中)

1日中、子どもの世話をしていると、ストレスを感じる時もあります。子どもをのびのび遊ばせたり、同じような子育てママたちとお話ししたりできる息抜きや、子育ての悩みなどを気軽に相談できる場所がもっとあればうれしいですね。



仕事に復帰したいので 保育所をもっと増やして

おか ちづ
岡 千鶴さん

(29歳主婦・白石区在住・
1歳8カ月になる長女の子育てに奮闘中)

子どもを預けようと思い、希望する
保育所を見学に行きましたが、1年以
上先まで埋まっていて入れませんで
した。認可保育所の数をもっと増やして
ほしいです。



このページに関するお問い合わせは、
財政部 ☎211-2216へ

保育所の定員を増加

予算 2,000万円

17年度補正予算での前倒し分6億4,200万円

17年度補正予算での前倒し分も合わせ、18年度は、
私立保育所の6カ所の新設・3カ所の改築(510人分)
を行います。

平成16~18年度の3年間では、新まちづくり計画で
予定していた1,530人を上回る定員増となりました。



女性の再就職を支援

予算 3,000万円

出産・子育て後の再就職を望む女性を対象に、
セミナーや個別面談、職業紹介をセ
ットにした支援を行います。就職後は、職
場定着までサポートします。



ミニ児童会館を8カ所整備

予算 9,000万円

小学校の余裕教室を利用したミニ児童会館を8カ所整備。
整備後は市内全域で40カ所となります。

児童会館の夜間利用

予算 2,100万円

地域の子どもの遊び場として開館している児童会館。今年は、中学生・高校生の活動の場として、20カ所の児童会館で週2日夜間の自由来館日を設けます。

子どもの権利条例の制定

予算 1,200万円

子どもたちが自立した社会性のある大人に成長、発達していく上で
大切な権利を保障するため、条例を制定します。